



2021年10月13日

各 位

会 社 名 株式会社メディアドゥ
代表者名 代表取締役社長 CEO 藤 田 恭 嗣
(コード：3678、東証第一部)
問合せ先 取締役 CAO 鈴 木 克 征
(TEL. 03-6212-5113)

特別損失（減損損失）の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日発表いたしました2022年2月期第2四半期決算において特別損失（減損損失）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年2月28日を基準日とする剰余金の配当につきまして下記のとおり決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

(1) のれんの減損処理による特別損失（連結決算）

当社の連結子会社である株式会社Nagisa（以下「Nagisa」といいます）に関する特別損失（減損損失）394百万円を計上しました。これは、Nagisaの主力事業であるマンガアプリ事業において、ネット広告に関するデジタルプラットフォームの規制対応といった外部環境の変化を踏まえ、当初計画における収益等の進捗状況を精査し、のれんの回収可能性について検討した結果、減損処理を行ったものです。

なお、足もとの当社グループが属する電子書籍市場は、紙本から電子書籍への移行という不可逆的なトレンドの進展と認知度の向上、電子書店のキャンペーン施策強化といった要因を背景に、市場の拡大傾向は継続していることに加え、通期業績予想の達成に向けた諸施策を着実に推進することで当社連結業績は堅調に推移しております。また、株式会社MyAnimeListが持分法適用会社となったことに伴う関係会社株式に係る持分変動利益208百万円を計上します。

これらを踏まえ、今回、第2四半期連結累計期間においてのれんの減損処理による特別損失を計上しますが、2021年4月13日に発表の2022年2月期の通期連結業績予想の数値の変更は行いません。

(2) 子会社株式の減損処理による特別損失（個別決算）

上述の状況を踏まえ、個別決算において当社が保有するNagisa株式の再評価を行い、関係会社株式評価損として623百万円を特別損失として計上しました。なお、個別決算で計上される関係会社株式評価損は連結決算では相殺消去されるため、連結業績においては上記のとおりのはれんの減損処理による特別損失のみを計上します。

2. 剰余金の配当（期末配当）について

(1) 配当の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想		21.00	21.00
当期実績	0		
前期実績 (2021年2月期)	0	21.00	21.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識するとともに、将来の持続的な成長に必要な設備投資等や経営基盤の強化も重要な経営目標と考えております。そのため、内部留保を確保しつつ、財政状態及び業績動向等、経営状態を総合的に判断して利益配当を行っていく方針であります。

上記方針のもと、株主の皆様への利益還元については、配当及び自社株式の取得による総還元性向（注）20%以上を念頭に置き、配当と自己株式の取得の配分は、株価水準等に応じて判断いたします。

これらを踏まえ、2022年2月期の期末配当につきましては、1株当たり21円00銭（配当金総額333百万円）とさせていただきます。

（注）総還元性向＝（配当支払総額＋自己株式取得総額）／親会社株主に帰属する当期純利益

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上